

JIS A 5537

F★★★★★



環境接着剤シリーズ

JAIA 4VOC基準適合

## 下地木工事、 内装断熱材施工用接着剤 EM-100

EM-100はコンクリートと木材の接着及びポリスチレンフォーム保温板・硬質ウレタンフォーム保温板の内装断熱材施工に適したアクリル樹脂系エマルジョン形接着剤です。水系にもかかわらず、乾燥性・接着性能に優れています。



アクリル樹脂系エマルジョン形接着剤

水性エマルジョン形

容量	包装形態	梱包単位
3kg	ポリ容器	6
3kg	ポリ袋	6 (ヘラ付)

### 用途

	木れんが施工	断熱材施工
適用箇所	屋内の壁面	屋内の壁面
適用下地	コンクリート、モルタル	コンクリート、モルタル、木材、石こうボード
適用仕上げ材	・木れんが(一般用) ・合板	・ポリスチレンフォーム保温板 ・硬質ウレタンフォーム保温板

### 性質

外 観	乳白色 粘稠液
主 成 分	アクリル樹脂系エマルジョン
張付け可能時間	10分以内/23℃

### 標準使用量

木れんが	6~10g/個
	300~500個/3kg
断熱材施工	450~550g/m <sup>2</sup>
	5.5~6.7m <sup>2</sup> /3kg

### 使用方法

#### ■木れんが施工の場合

##### 【下地の確認】

#### ●コンクリート・モルタル下地の場合

平滑・平坦に仕上げ、施工後2週間(冬期は4週間)以上養生し、よく乾燥している事を確認します。

##### 【下地の調整及び清掃】

- 1.コンクリートやモルタル下地に凸部がある場合は、サンダーがけやケレン処理により平滑にします。また、凹部がある場合は、下地補修材(リフロアーFなど)で補修します。
- 2.モルタル下地のもろい部分やレイタンスは必ず取り除いてから下地補修材(リフロアーFなど)で補修します。
- 3.接着不良の原因となる塗料、油、ホコリ、錆などを取り除きます。

チェック：・プラスチック材料、塗装面、ガラス面、金属面には施工しないで下さい。  
・水回り及び湿気の影響が大きい場所には使用しないで下さい。

##### 【被着材の確認】

木材の接着面が粗いと十分な接着力を発揮しませんので予めカンナをかけて平滑にします。

##### 【接着剤の塗布】

ヘラなどで木材の側に接着剤を厚めに塗布します。

チェック：・接着剤の塗布厚は1mm程度が適当です。  
・木ブロックなど大きな材料には若干厚めに塗布して下さい。

##### 【張り付け】

- 1.接着剤塗布後、張り付け可能時間内に張り付けます。

チェック：接着剤塗布後10分以上放置しますと、接着剤表面が皮張りし、付着性が悪くなりますので注意して下さい。

- 2.被着材の四隅から接着剤がはみ出す程度に、充分圧着します。

##### 【養生】

接着剤が硬化するまで(夏期で24時間以上、冬期で48時間以上)外力を加えないように養生します。

釘打は養生後に行います。

チェック：養生時間は被着材の大きさや環境により異なりますので、硬化状態は必ず確認して下さい。

#### ■断熱材施工の場合

#### ●コンクリート・モルタル下地の場合

平滑・平坦に仕上げ、施工後2週間(冬期は4週間)以上養生し、よく乾燥している事を確認します。

#### ●各種ボード下地の場合

タワミのない厚手の材料を使用し、目違いや目地あきのない下地とします。

##### 【下地の調整及び清掃】

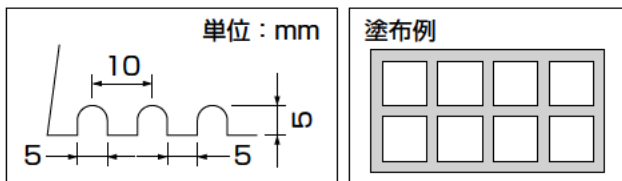
- 1.コンクリートやモルタル下地に凸部がある場合は、サンダーがけやケレン処理により平滑にします。また、凹部がある場合は、下地補修材(リフロアーFなど)で補修します。

# EM-100

- 2.モルタル下地のもろい部分やレイタンスは必ず取り除いてから下地補修材(リフロアFなど)で補修します。
  - 3.接着不良の原因となる塗料、油、ホコリ、錆などを取り除きます。
  - 4.下地面及び被着体のゴミ・ホコリ・油分・錆・塗料などは接着不良の原因となりますので取り除きます。
  - 5.下地に浮き水がある場合は拭き取り、乾燥させます。
- チェック：・プラスチック材料、塗装面、ガラス面、金属面には施工しないで下さい。  
・水回り及び湿気の影響が大きい場所には使用しないで下さい。

## 【接着剤の塗布】

接着剤を専用クシ目ゴテ(下図)を用いて塗布します。



## 【張り付け】

- 1.接着剤塗布後、張付け可能時間内に張り付けます。
  - 2.張り付けは被着材をすりこむようにして十分に圧着します。
- チェック：接着剤塗布後10分以上放置しますと、接着剤表面が皮張りし、付着性が悪くなりますので注意して下さい。

## 【養生】

接着剤が硬化するまで(夏期で24時間以上、冬期で48時間以上)外力を加えないように養生します。

## 取り扱い上の注意事項

EM-100を取り扱う時は、以下の項目を守って下さい。

- プラスチック材料、塗装面、ガラス面、金属面には施工しないで下さい。
- 水回り及び湿気の影響が大きい場所には使用しないで下さい。
- 接着用途以外には、絶対に使用しないで下さい。
- 品種の異なる接着剤や溶剤と併用・混合しないで下さい。
- 5～35℃の環境で使用・保管して下さい。(0℃以下では凍結することがあります)
- 取り扱い場所及び施工場所は換気を行って下さい。又、施工後も接着剤が硬化するまで、自然換気(日常生活程度、朝夕1～2時間)を行って下さい。
- 使用時は必要に応じて保護具を着用して下さい。
- 開封した接着剤は、できるだけ早く使い切して下さい。
- 直射日光の当たらない屋内に場所を定めて保管して下さい。
- 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 使用後や休憩前には、手洗い・ウガイをして下さい。
- 使用中に身体に異常を感じた時には、直ちに使用を止め、換気のよい場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 目に入った時は直ちに清水で洗い流した後、医師の診断を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ時は直ちに医師の診断を受けて下さい。
- 皮フや衣服に付いた時は洗い落して下さい。
- 誤飲防止と食品への混入を避けるために、保管場所は食品と区別して下さい。
- 使用済み容器などは、許可を受けた産業廃棄物処理業者へ処分を委託して下さい。
- 河川・湖沼・下水道などへ流入させないで下さい。
- ご不明な点は、当社営業担当にお問い合わせ頂くか、安全データシート(SDS)をご参照下さい。
- EM-100をご使用になる前には、商品容器の表示事項をよくお読み下さい。

●掲載商品の一部内容を、品種の新設・改良・廃止などにより予告なしに変更する場合があります。

●本カタログの記載内容は、当社技術開発センターの資料を基に作成し、充分信頼し得るものと確信しております。しかし、現場施工においては、施工箇所の環境・使用材料・施工条件などが異なるため、全ての条件を満足するものではありません。確実な施工を行うためにも、施工前に確認試験をされますようお願いいたします。

株式会社 <b>タイルメント</b> 本社営業本部 / 〒453-0067 名古屋市中村区信勤町1-58 TEL: 052-412-7321 FAX: 052-412-8900							
東京支店 TEL: 03-3616-2201 FAX: 03-3616-3711	名古屋支店 TEL: 052-411-3511 FAX: 052-411-3516	仙台営業所 TEL: 022-262-5751 FAX: 022-262-5753	広島営業所 TEL: 082-231-1200 FAX: 082-231-7666	北陸出張所 TEL: 076-237-7480 FAX: 076-237-6478	大垣工場 TEL: 0584-89-2225 FAX: 0584-89-2090	技術開発センター FAX: 0584-89-8111 TEL: 0584-87-0010	
大阪支店 TEL: 06-6386-6141 FAX: 06-6386-6146	札幌営業所 TEL: 011-717-5216 FAX: 011-717-5217	横浜営業所 TEL: 045-242-7441 FAX: 045-242-8136	福岡営業所 TEL: 092-451-6503 FAX: 092-481-0621				

タイルメント ホームページアドレス <http://www.tilement.co.jp>

関連企業

◆株式会社イズカ・タイルメント ◆TILEMENT (THAILAND) CORPORATION, LTD.

1609Mac06